



大使からの活動報告 2015 年 10 月号

— 次期大統領選挙実施他 —

2015 年 11月2日

在グアテマラ日本大使館

特命全権大使 川原英一

◆ 2015 年大統領選挙・決選投票結果

10 月 25 日にジミーモラレス候補とサンドラ・トーレスの両大統領候補による大統領決戦投票が実施され、即日開票されました。開票結果は、モラレス大統領候補が 7 割近い得票を得て次期大統領に当選しました。25 日午後 6 時の投票終了直後から、各 TV 局による開票速報があり、開票から 2 時間もしないうちに結果が判明して、この国の全国からの投票集計システムが素晴らしいことを実感しました。

モラレス次期大統領は、国立サンカルロス大学修士を取得し、同大学の元経済学部講師、その後、TV コメディアンとして長く活躍を



された経歴の方です。大統領の任期は 1 期 4 年間であり、大統領就任式は来年 1 月 14 日に予定されています。次期政権への移行チームが早速に発足し、今年 12 月後半には、次期政権の閣僚人事も発表される予定と報じられております。今回の総選挙及び大統領決戦投票で、国民が強く期待した大統領候補の資質として、汚職対策に誠実に取り組んでくれる既存政治家でない候補者でした。モラレス候補は都市部富裕保守層・学生・市民団体などの支持が多く、対立候補は、地方での支持基盤があると言われておりました。グアテマラ全人口 15 百万人余りの中で、有権者総数は 750 万人、インターネット人口が 450 万人、また、フェイスブック利用者が 4 百万人とされており、今回インターネットを利用したモラレス候補が地滑りのように勝利して、従来の当国選挙とは様相が異なった様子です。

◆ 公館長表彰式

10 月 29 日、カルロス・リーベルス当館法律顧問に対する公館長表彰式を大使公邸で行い、リーベルス弁護士のご家族・ご友人、ジャーナリスト関係者をお招きしました。リーベルスさんは、15 年ほど前から当館法律顧問として当館の業務に関わる相談に対応してくれております。日本が大好きで、日本の友人として、大変に親身になって法律上の助言を頂いており、歴代大使、館員、邦人関係者等がとてもお世話になってきました。当国での大使館による外交活動が円滑に実施されてきた背景にはこ





のような方による御支援があればこそだと思っております。

今年、日本とグアテマラ外交関係樹立80周年の機会に同氏への感謝の気持ちを改めてお伝えすることとなりました。リーベルス氏の法曹界を中心とした御友人が数多く、マルドナド現大統領も古くからの法曹界での御友人のお一人です。

◆災害支援国・国際機関・自治体関係団体を顕彰する式典

10月30日夕、マルドナド大統領主催により10月初めに発生した首都近郊での大規模地滑り災害発生後の救援活動などで功労のあった関係団体を顕彰する式典が国家文化宮殿前広場でありました。日本政府が、同災害発生直前の9月24日に日本製の防災機材一式をグアテマラ国家防災調整委員会(CONRED)に無償供与していたことから、当方が代表して同式典に国連機関代表らと共に招待されました。同式典は、革命記念日行事と併せて実施され、国家文化宮殿前に大統領はじめ当国政府高官らが出席(右側写真)。国防省音楽隊による当国の代表的名作曲(セラの月、エル・グリコなど)の演奏後、日本、WFP、UNDP代表など、そして災害対応した自治体関係機関、NGO団体などにメダルが贈られました。また、直接に救助活動に当たった消防隊に対しては、出席者全員による一分間拍手が行われました。顕彰式の模様を、当国のTV各局など多くのプレスが取材していました。



日本と同様に、毎年、自然災害に見舞われるグアテマラに対しては、これまで防災に関する人材育成のための研修を日本政府が実施してきており、今回の大規模災害発生直前のタイミングに日本製防災機材一式の引渡を行ったばかりでした。こうしたことから、当国の防災関係者にとって、今度の災害時に役立ち、感謝をされました。

◆JICA 農業計画専門家の離任報告



10月27日、当国農牧省で2年間活躍された伊藤専門家(農業計画)と離任前にお会いして懇談する機会がありました。同専門家は、以前は、ニカラグアで農業大学校で活躍、コスタリカの大学では農業普及に関する修士を取得された方です。当国の農牧省普及局計画課に所属して、地方自治体レベルでの農業開発計画と農牧省の農民の生活水準向上に向けた農業計画との連携強化に関わっておられました。農牧省は1996年まで存在した普及員制度を復活させるため、全国338自治体に約1千名の普及員を派遣しており、同専門家は、地方農村のニーズを反映した農業計画の策定ができるよう尽力されました。地方農民のニーズを吸い上げた農牧省の計画策定作業は、なかなか進まず、目に見える結果を出そうとして、相当に御苦勞をされたそうです。

◆共同通信ロサンゼルス支局長の来訪

10月26日、中川支局長に当大使館を訪問頂きました。今回は、グアテマラ大統領決戦投票の取材と当国事情調査のために出張して来られたこと、中米・キューバをロスから見ておられ、次回以降、当国にあるユネスコ世界遺跡など視察したいとお話でした。グアテマラの最近の政治・経済事情、米国大統領選挙事情などについて懇談を致しました。



◎グアテマラ住友商事事務所所長・副所長の御来訪

10月27日、住友商事事務所の市田所長が、着任された石崎副所長の御紹介・御挨拶のため大使館を訪問されました。石崎副所長は、これまで、エクアドル、スペイン、メキシコに在勤経験をお持ちです。着任前は、同社の地域総括部で米州地域をみておられたと伺いました。石崎副所長には、最近のグアテマラ政治経済事情、日墨経済連携協定当時や最近のメキシコでの日系企業の急増ぶりのお話など致しました。



日本人学校大運動会と秋祭り

10月31日、秋晴れの中、オーストリア校運動場をお借りして、児童生徒とご父母、在留邦人の方々が参加し、第38回日本人学校大運動会が行われました。伝統となった児童・生徒による力のこもった応援合戦から始まり、御父母も参加した各種の競技種目や児童・生徒によるソーラン節の演技発表など多彩なプログラムが実施されて、児童・生徒の皆さんは日頃の練習成果を存分に発揮していました。

御参加された皆さん全員が、幸いケガする方もなく、楽しいひと時を過ごしておられました。運動会終了後、日本人会有志の方々のご尽力により秋祭りが行われ、当方も子供たち、御父母、在留邦人の皆さんと一緒に東京音頭を楽しみました。（了）

